

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月22日		記入者		内線	5134
部 名	管理部	課 名	学校施設課		課長名	角田 栄次
事務事業名	小学校・中学校校舎等整備事業 冷暖房設備整備事業					
予算上の事務事業名	小学校・中学校校舎等整備事業 冷暖房設備整備事業					
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14121			
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造					事業開始年度
施 策 名	第2施策 小・中学校教育の充実					平成8年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次	年度～	年度				
4 事業形態の区分 建築・整備・重要物品購入 ▼						
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
管理諸室(職員室、校長室、事務室)に冷暖房設備を設置する。				対象校の児童、生徒及び教職員		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
小学校3校(宮上小、若松小、九沢小)及び中学校1校(内出中)に設置 【整備状況】小学校:52校うち平成16年度未設置済校:47校 中学校:27校うち平成16年度未設置済校:25校						
6 関連・類似事業や他市の状況						
県内の空調設備整備状況(管理諸室(職員室、保健室)及び特別教室(PC室))については、ほとんどの市町村で整備済みである。						
7 事業費の推移 [単位:千円]						
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事 業 費	28,704	28,392	54,788	56,176	46,800	
一般財源	24,556	21,043	49,106	44,278	36,597	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	4,148	7,349	5,682	11,898	10,203	
人件費の合計	3,178	3,026	5,874	6,023	5,018	
事業コスト合計(a)	31,882	31,418	60,662	62,199	51,818	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	冷暖房設備整備事業			対象名称(単位)	校数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	28,704	28,392	54,788	56,176	46,800	
対象数	2	2	4	4	3	
単位あたり経費(円)	14,352,000	14,196,000	13,697,000	14,044,000	15,600,000	
前年度比		0.99	0.96	1.03	1.11	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	冷暖房機設校数		指標式と指標の説明	管理諸室の冷暖房機設置		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	2.0	2.0	4.0			
目標	2.0	2.0	4.0	4.0	3.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	冷暖房機設置率		指標式と指標の説明	設置済校数 / 対象校数 × 100 管理諸室の冷暖房機設置率		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	83.5	86.1	91.1			
目標	83.5	86.1	91.1	96.2	100.0	
目標達成度	100.0	100.0	100.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 校舎の大規模改造事業等に併せて整備するなど経費削減に努めながら、計画的な整備を進める。			14 課題として認識されたこと (平成17年度4校、平成18年度3校に設置し、管理諸室の設置は完了予定) 今後は津久井町、相模湖町の冷暖房整備状況を踏まえて、特別教室等への整備を検討する。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				